

レジ袋削減に関する共同アピール（原文）

現在、日本では国民1人当たり年間約300枚のレジ袋を使用していると言われており*1、東京都内では39億枚も使用していることとなります。このレジ袋の製造から焼却の過程で排出される二酸化炭素*2は、一般家庭3万5千世帯が1年間に排出する量に相当し*3、これを吸収するためには、1,300万本の杉の木が必要となります*4。

これだけの量のレジ袋を今すぐに無くすことは大変難しいことですが、住民一人ひとりがレジ袋削減の意義を知り、意識を変え、行動することによって、多くのレジ袋を減らすことができます。こうした行動は、レジ袋の削減だけにとどまらず、自分自身の生活習慣を見直す契機となり、ひいては地球環境の保全や地球温暖化防止のために何をすべきかを考え、行動していくことにもつながります。

東京62市区町村は、レジ袋削減に共同で取り組み、各市区町村が地域の実情に応じて次の行動を起すことを宣言します。

- 一、レジ袋削減に向けた社会的気運を高めるため、積極的に普及・啓発を行います。
- 一、住民、事業者と共同・連携して、地域の実情に応じたレジ袋削減の取り組みを進めます。
- 一、レジ袋の削減をきっかけに、自然環境の保全と地球温暖化防止の取り組みが広がるよう働きかけていきます。

2009年2月9日

- *1 経済産業省「なつく、知つく3R」：1枚10gとして国民1人当たり年間300枚のレジ袋を使用
- *2 社団法人プラスチック処理促進協会：1枚10gのレジ袋の製造・焼却で46.55gのCO₂を排出
- *3 全国地球温暖化防止活動センター：一般家庭1世帯当たり約5.2tのCO₂を排出
- *4 林野庁試算「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」：杉の木1本当たり年間約14kgのCO₂を吸収



オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

主催 / 特別区長会 東京都市長会 東京都町村会

企画運営 / 公益財団法人特別区協議会 財団法人東京市町村自治調査会

千代田区 中央区 港区 新宿区 文京区 台東区 墨田区 江東区 品川区 目黒区 大田区 世田谷区 渋谷区 中野区
杉並区 豊島区 北区 荒川区 板橋区 練馬区 足立区 葛飾区 江戸川区 八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市
府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市
清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 あきる野市 西東京市 瑞穂町 日の出町 檜原村
奥多摩町 大島町 利島村 新島村 神津島村 三宅村 御蔵島村 八丈町 青ヶ島村 小笠原村

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ <http://all62.jp/>

この事業は、公益財団法人東京都区町村振興協会からの助成金により実施しています。